

5月号

# 美しが丘新聞

## フレッシュキヤンペーン

### 開催中!

若葉が日立ち始め、心地よ  
暖かさに誘われ活動的に  
なっている方も多くいらつ  
しゃるのではないでしょう  
か。さて、美しが丘にはま  
まで、そんな活動的な皆様へ最  
適のイベントを企画し5月1  
日より開催する運びとなりま  
した。お陰様で分譲地の販売  
が加速度的に進んでおります  
。そこで、その勢いそのままに、  
厳選した3区画を特別価格で  
販売させて頂きます。この3  
区画は建築条件なしでのご提  
供とさせて頂きますので、こ  
の機会に是非ご検討なさつて  
ください!  
6月9日(土)10日(日)に  
は大きなイベントも予定して  
おりますので、どうぞご期待  
ください。

土地に対する考え方で、日本  
では古くから「先祖代々その土  
地に住み続ける」といった考え  
方が継承されてきました。特に  
私達が生活している愛媛県など  
の地方にあたるエリアでは色濃  
く伝わっているように思います  
。私の故郷は瀬戸内海の島であ  
り、まさにその思想を強く感じ  
て育つて参りました。然しながら  
、故郷の現状は過疎化が随分  
と進み、空き家があちこちに見  
られるようになりました。若者  
達はより便利な環境を求め、  
次々に島を離れていったのです  
。私もその一人です。  
これは仕事や教育の環境が維  
持できないといった地域の理由  
があるため仕方ないケースです  
。が、最近目にするのは、近くに  
実家が在るにも拘らず新たに土  
地を購入して新居を構えるパ  
ターンです。また、県外出身の  
方ですが、仕事を続けるこの環  
境で住み続けると決断される方  
も多く見受けられます。  
少し古い考え方ですと「実家  
が在るから」や「長男なので実  
家を継承しないといけない」と  
いった話をよく聞きました。最  
近では提供する側が私達が心  
配するくらいに実家に対する思  
いがドライになつてきているよ  
うに感じます。但しこれは決して悪



コラム

### 土地に対する考え方の変化について

発行年月日  
2018年4月27日

発行人  
(株)ルミノティー  
藤原正之



編集長より  
ひとこと

5月は個人的にも大好きな季節です。この会社に再就職しようやく一年が経過しましたので、そろそろ存在感を出してゆこうと意気込んでいます!

### 【美しが丘購入の理由(事例)】

- 【地元だから】
  - ・元々この地域で生まれ育った方が、同じ地域での生活を求めて購入されたケースです。
- 【お互いの実家から調度良い距離】
  - ・例えばそれぞれの実家が、四国中央市と西条市であるような場合。双方の実家との関係も加味しての判断です。
- 【県外出身だが職場がこちらだから】
  - ・こちらへ就職し子供達も大きくなってきたので、この環境での子育てを決心したケースです。この場合、定年後も居住を続けるケースと定年後に帰省されるケースとに分かれます。

い事だとは思いません。  
若年層の自立心が強くなつていたり、それらの方々がマイホーム取得しやすい環境(条件)が整っている証拠だと思えますし、それは良い事だと思えます。住まい方が自由になつてきた今、何よりも大切な事は、自由に将来を考  
える世代とそれを理解してあげる親世代とのコミュニケーションが重要なのだと痛感しています。  
美しが丘にはまは、その両者が意見交換するには最適な場所だと思えますので、是非学だけでも結構です。是非足を運んで頂ければと思います。どうぞ宜しくお願いします。

### 5月のお知らせ

## モニター募集企画も開催中!

<http://utsukushigaoka.jp>

ホームページをご覧ください!